

# 社 会 教 育

## 第1節 社会教育一般

### 1 概 要

今日の社会は、都市も農村もめまぐるしく動いている。その変化はきわめて複雑多岐にわたり、急激な技術革新による産業構造の変化、余暇や消費の増大、都市化現象の進行と相まって、必然的に生活構造そのものの多様化をもたらし、社会教育においても、その教育の形態、方法、社会教育対象人口の組織化等、それぞれ量的質的に拡大の方向をたどりつつある。

このような観点から、市町村教育委員会ならびに関係機関団体との協力体制をいっそう強化するとともに、教育行政の果す固有の役割と独自の領域を明確にして、本県社会教育伸展の基盤確立に努力した。

#### (1) 社会教育施設の整備充実

本県における社会教育施設設備の現況は、量的、質的にみて必ずしもじゅうぶんとはいえないが、社会教育の飛躍的発展をはかるために、その基幹的施設である公民館の計画的整備に全力をそそいできた。

- ① 公民館の整備をはかるための県費補助 (150万円)  
国庫補助による公民館新築 (5 館)
- ② 県立文化センター建設1年度計画促進
- ③ 施設設備の充実と併置館の解消

#### (2) 社会教育指導体制の充実強化

社会教育施設の充実と相まって、指導者の体質改善とその充実対策はきわめて重要であり、とくに市町村における社会教育主事の完全設置につとめたが、本年度においてはその設置率61%、前年度と比較してのび率は、ほとんど変わりはない。

- ① 本年度は、とくに東北各県にさきがけて、青少年指導員の設置が実現した。
- ② 社会教育基幹の指導者の養成と研修機会の積極的提供につとめた。とくに国立社会教育研修所の研修計画に14名の参加をみた。
- ③ 県社会教育委員会議、青年学級研究協議会等を通して研究、調査、諮問を行ないその指導力の充実を期し、波及効果の実をあげた。

#### (3) 学級・講座の拡充

社会の変ぼうに絶えず適応するためには、主体的に学習意欲をもやし、積極的に各種の学級講座に参加することである。本年度は、青年学級 132、開設率67%、成人学校 14、家庭教育学級 267、婦人学級、高等学校開設講座 6、高令者学級 35の開設をし、さらに次のことを実施した。

- ① 研究、実験学級の指定
- ② 研究集会の内容充実
- ③ 資料の作成提供

#### (4) 社会教育関係団体の育成助長

現代の社会的要求に応ずるため相互研修の場として、集

団による組織的な団体活動を行なうことは人間形成のうえに大きな役割を果している。これら団体の健全にして、かつ適切な事業活動を助長するために、団体の自主性を尊重しつつ、積極的な助成を行ない、その指導者の養成につとめた。

- ① 指導者の養成と研修機会の提供
  - ② 育成助長のための県費補助
  - ③ 団体指導者のための資料作成
- (5) 芸術文化の振興と文化財の保護

芸術文化の振興は、創造性豊かな県民づくりと、文化的な香り高い県土建設のため、きわめて重要である。また民族文化活動の所産である文化財を正しく理解し、愛護する精神を培うために効果的な施策を講じてきた。

- ① 県民文化水準の向上
- ② 県民のすぐれた芸術文化活動の保護育成
- ③ 文化施設の整備
- ④ 国、県指定文化財の保護、施策の強化
- ⑤ 記録の整理保存の強化

以上、昭和42年度社会教育行政の概要についてのべたが、県土の限りない発展のため、本県社会教育の歩みを冷静に直視しつつ、県、市町村が一体となってたくましい前進をつづけたい。

## 2 市町村社会教育主事研修会

### (1) 目 的

社会経済の急激な進展にともない、本県社会教育のいっそうの充実振興を期すため、市町村社会教育主事に対し、こんにちの社会教育を進めてゆくために必要な基礎的教養の研究を行ない、もってその資質の向上と指導力の強化をはかる。

### (2) 期日・会場・参加者数

- ① 期 日 42. 7. 31. ~ 8. 5.
- ② 会 場 耶麻郡猪苗代町 県積慶寮
- ③ 参加者数 31名

### (3) 講 師

|                  |       |
|------------------|-------|
| 国立社会教育研修所主幹      | 湯上 二郎 |
| 東洋大学助教授          | 岡本 包治 |
| 宮城教育大学教授         | 菅野 正  |
| 茨城大学教授           | 小倉 学  |
| 福島大学教授           | 古旗 安好 |
| 福島大学助教授          | 工藤 正悟 |
| 福島県厚生部青少年対策室長    | 丹野 清栄 |
| 福島県企画開発部統計課主任主査  | 折橋 国久 |
| 福島県教育庁社会教育課長     | 佐藤 正義 |
| 助言者 福島県教育庁社会教育課員 |       |

### (4) 参 加 者

市町村社会教育主事